

この度のウクライナ侵攻:基礎研緊急シンポ(3/13)、急な開催に約200名参加、ロシアとウクライナ、また欧州全体の問題だと。その間にも人々に砲弾が……  
3月9日のゼミは、芦田文夫『「資本」に対抗する民主主義』I部1章「マルクスと民主主義」を高田の報告で行いました。民主主義の近代的な意味で市民社会をヘーゲル・マルクスはブルジョア社会とした。民主主義と社会主義の問題はコントロール概念・民衆の統治・制御を中心に置く。第1章ではマルクス・エンゲルスの民主主義の展開・資本による国家権力・社会全体の包摂・支配の論理展開をみる。1848年革命・1871年革命への論述から君主制・共和制・パリコミュンで階級対立と国家権力、コミュンによる国家からの解放・人民政府論、自由な協同労働への進歩的な仕事へ。マルクス・エンゲルスの民主主義論へは、資本概念展開の問題軸と人間主体の生活・労働概念の問題軸を立て、「ドイツ・イデオロギー」の歴史観、『経済学批判要綱』の人類史、さらに『資本論』の資本蓄積・労働のアソシエーション、さらに後期マルクスの周縁部社会、アソシエーションと疎外まで論じる。討論では、ここでは民主主義の定義が明確にされていない。民主主義をカニンガムによるコントロール、統治・制御でいいのか。自己統治、市民自らの統治という点、近代国民国家での代表制としての民主主義。コントロール→制御、デモクラシー→統治、ガバメント、リプレゼンテーション:表象の概念。21世紀での民主主義の危機に関して、古代の民主主義、現代の民主主義、未来社会の民主主義、本来の民主主義、等々。芦田氏の主題は「民主的な社会主義」、アソシエーションは資本主義後の議論として。出席は、小野さん、川口さん、斎藤さんと高田の4名でした。

\* 3月23日ゼミは、「第4週ゼミの今後について:意見交換会」を予定しています。オンライン参加もできます、第4週ゼミに参加の方はもちろん、第2週ゼミに参加の方も会場・オンラインでご参加してください。今後のゼミについてご意見・ご提案をお願いします。オンライン参加情報は別途MLメールでお知らせいたします。事前にご意見等をお寄せいただければ、当方からの提案・資料と共に、MLメールで事前配布いたします。

\* 3月26・27日は基礎研春季集会在、東京の慶応大・中央大で開催されます。京都に視聴会場、オンライン配信もあり、ご参加ください。

\*\*\*\*\* ゼミ日程 \*\*\*\*\*

3月23日(水)午後6時半～9時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

「第4週ゼミの今後について:意見交換会」・オンライン参加可

4月13日(水)午後6時半～9時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

芦田文夫『資本に対抗する民主主義』II部2章 レーニン 報告・斎藤さん

4月27日(水)午後6時半～9時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

(予定) マルクス『資本論』第3巻39章 差額地代の第一形態 報告者未定

その後 5/11, 5/25, 6/8, 6/22, 7/13, 7/27: アイクルの部屋

◇第三学科事務局/高田好章: ytakada@kcn.ne.jp 090-8658-3755

HomePage: <http://ysweb.g.dgdg.jp/ytakada/kisoken/> Pass: kiso